

2021年3月8日

会津若松市長 室井照平 様

医療と福祉を良くする会津の会

会長 田勢元喜

要望書

全国で新型コロナウイルス感染症の流行拡大に歯止めがききません。そのような中で市民のいのちとくらしを守り向上させるために、日々奮闘されていることに敬意を表します。

さて、全国では新型コロナウイルス感染症は無症状の感染者が気付かないうちに感染を拡大させてしまっている現状があります。感染拡大を止めるには無症状感染者を把握・保護する積極的検査戦略がどうしても必要です。また、今年になってから会津若松市内でも大規模の感染拡大が起きています。その影響で、もうすでに地元業者の営業も瀕死の状態です。会津若松市としての独自の支援も前回のように県の支援を受けられた方しか受けることができないような仕組みでは真の感染防止にはつながりません。

よって、以下の事項を要望致します。

- 一、市内の医療機関や高齢者施設で働く人に定期的な PCR 検査（社会的検査）を行ってください。
- 二、希望する人はいつでも何度でも無料で PCR 検査を受けられる体制を作ってください。
- 三、国に対して PCR 検査の抜本的拡充と検査費用は全額国の負担で行うよう強く要望してください。
- 四、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減っている地元業者に、本市独自の追加支援を行ってください。
- 五、本市から県内外へ出て学ぶ学生と親元を離れ本市で学ぶ学生に対して、地元の農産物等を提供し励ましてください。

以上